

南幌町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）  
進捗状況報告書

令和 6（2024）年度実績報告

令和 7（2025）年 11 月

南幌町地球温暖化対策推進委員会

令和 6（2024）年度「南幌町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に向けた取組み状況（実績報告）  
について

令和 7（2025）年 10 月

地球温暖化防止に関する国際的な取り組みとして、気候変動に関する国際連合枠組条約があり、H9（1997）年 12 月に地球温暖化防止京都会議（COP3）が開催され、京都議定書が採択されました。この中で日本においては、温室効果ガスの総排出量を H20（2008）年から H24（2012）年までの間に、H2（1990）年比で 6%削減するとの目標が定められました。

H27（2015）年 11～12 月にかけて、フランス・パリで気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）が開催され、京都議定書以来となる国際的枠組みである「パリ協定」が採択されました。これにより、世界の平均気温上昇を産業革命から 2.0℃未満に抑え、平均気温上昇を 1.5℃未満に抑える努力を追求することを 196 ヲ国全ての国々が地球温暖化対策に取り組んでいく枠組みが構築されました。

日本は、H27（2015）年 10 月に、R32（2050）年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。また、R3（2021）年 10 月には、国の地球温暖化対策計画が改定され、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて気候変動対策を着実に推進していくこと、中期目標として、R12（2030）年度において、温室効果ガスを H25（2013）年度から 46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向けて挑戦を続けていくという新たな削減目標も示されました。

H19（2007）年 1 月に町では、事務事業に伴い自ら排出する温室効果ガスの削減を図ることを目的として「南幌町地球温暖化防止実行計画」を策定し、第 2 次、第 3 次実行計画を経て、R3（2021）年 3 月に第 4 次南幌町地球温暖化対策実行計画を策定しましたが、R3（2021）年 10 月に国の地球温暖化対策計画が改定され、目標値が上方修正されたことから、R5（2023）年 3 月に第 4 次南幌町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定を行いました。なお、温室効果ガスの排出削減目標は、政府実行計画及び北海道実行計画等を踏まえて R12（2030）年度に、H25（2013）年度比で 50%削減することを目指しています。

## 1 令和 6（2024）年度の実行計画における対象範囲（施設・公用車等）について

対象範囲は、本町が行う全ての事務・事業とし、対象施設は一部見直しを行い下記一覧表のとおりとしています。（行政区・町内会で維持管理している指定管理施設は除く）

### 【対象施設一覧】

分 類	施 設 名
総務課	南幌町役場庁舎、夕張太ふれあい館、公用車、防犯灯
まちづくり課	工業団地広告塔、オンデマンド交通
住民課	南幌墓地
保健福祉課	南幌町保健福祉総合センター、公用車
産業振興課	南幌町ふるさと物産館
都市整備課	南幌町総合保安センター、柳陽団地集会場、公共下水道施設、夕張太浄化センター、公営住宅受水槽室、排水機場、稲穂公園、公衆用道路街路灯等、公用車、除雪機械、東町マンホールポンプ
生涯学習課	南幌町生涯学習センター、南幌町立学校給食センター、南幌町立南幌小学校、南幌町立南幌中学校、教員住宅受水槽室、南幌町スポーツセンター、南幌町農村環境改善センター、スクールバス
町立南幌病院	国民健康保険町立南幌病院、公用車
南空知消防組合南幌支署	南幌消防支署、消防分団、消防車等

※ 対象施設：36 施設 対象公用車：57 台（ガソリン：32 台 軽油：25 台）

## 2 温室効果ガス二酸化炭素（CO2）総排出量の算定について

第4次実行計画（事務事業編）より、対象施設の新設及び廃止等による増減を含めた総排出量の算定を「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」第3条第1項の規定で定められている排出係数を用いて計算しています。（電気事業を除く）

電気事業に係る排出量の算定については、毎年度環境省が発表する「電気事業者別排出係数」の北海道電力株式会社の当該年度排出係数を用いることとします。

### 【二酸化炭素（CO2）排出係数】

ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPガス
2.29kg-CO2/l	2.62kg-CO2/l	2.50kg-CO2/l	2.75kg-CO2/l	2.99kg-CO2/kg

### 【電気事業者別排出係数】

事業者名	排出係数
北海道電力株式会社	0.532kg-CO2/kwh
北海道電力株式会社（カーボン F プラン）	0 kg-CO2/kwh

### 【温室効果ガスの削減数値目標】

区 分	基準年度総排出量 H25（2013）年	削減率目標	目標年度総排出量 R12（2030）年
二酸化炭素(CO2)	3,447,531 kg-CO2	50%	1,722,365 kg-CO2

## 3 令和6（2024）年度南幌町の温室効果ガス二酸化炭素（CO2）の総排出量について

R6（2024）年度の町の事務事業に伴い排出された温室効果ガス（二酸化炭素（CO2））の総排出量実績は、2,013t-CO2 となり、基準年（H25）の総排出量と比較して、1,436 t -CO2 減の 41.7%の削減となりました。

R5（2023）年度比においても、総排出量 109.6t-CO2、5.2%の削減となりました。

	基準年度 H25（2013）年	実績年度 R6（2024）年	比 較	削 減 率
CO2 総排出量	3,447,531 kg-CO2	2,012,325 kg-CO2	△1,435,206 kg-CO2	△41.7%

### 【基準年 H25（2013）年と実績年 R6（2024）年の比較】

項 目	基準年【H25】		実 績【R6】		増 減		
	使用量	CO2排出量 Kg-CO2	使用量	CO2排出量 Kg-CO2	使用量	CO2排出量 Kg-CO2	削減率% H25 比較
ガソリン	18,843 リットル	43,147	25,300 リットル	57,933	+6,457 リットル	+14,786	+34.2
軽油	63,439 リットル	166,207	53,031 リットル	138,938	△10,408 リットル	△27,269	△16.5
灯油	82,508 リットル	206,268	76,794 リットル	191,984	△5,714 リットル	△14,284	△7.0
A重油	519,500 リットル	1,407,845	544,000 リットル	1,496,000	+24,500 リットル	+88,155	+6.3
LPガス	2,577 kg/m <sup>3</sup>	17,004	2,538 kg/m <sup>3</sup>	16,746	△39 kg/m <sup>3</sup>	△258	△1.6
電 気	2,347,943 kwh	1,607,060	1,884,017 kwh	110,724	△463,926 kwh	△1,496,336	△93.2
合 計		3,447,531		2,012,325		△1,435,206	△41.7

4 南幌町の事務事業により排出された施設等別排出量について

R6（2024）年度における町の事務事業により排出された施設等別温室効果ガス（CO2）排出量は次ページの施設・公用車別の排出量内訳のとおりです。排出割合の大きい施設は、町立病院、スポーツセンター（町民プール含む）、保健福祉総合センター、南幌小学校、学校給食センターの順となりました。

町立病院の温室効果ガス（CO2）排出量 461.2t-CO2 は、総排出量の 22.9%を占め、基準年（H25）比 265.0t-CO2 減、36.5%の減となり、R6（2024）年度において、削減量が一番大きい施設となりました。

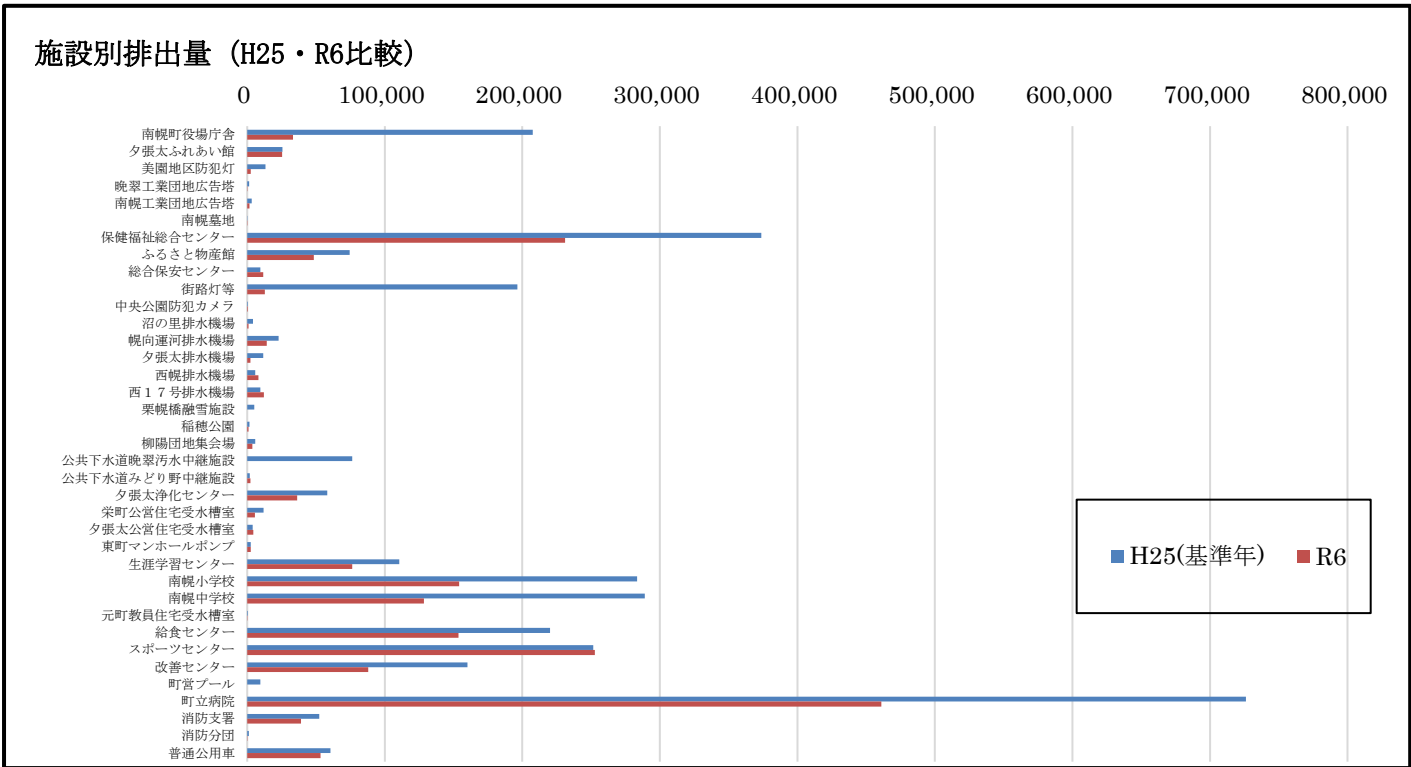
また、削減量が大きい役場庁舎の温室効果ガス（CO2）排出量は 33.3t-CO2 で、総排出量の 1.66%を占め基準年（H25）比 174.4 t-CO2 減、84.0%の削減となっています。

令和 5 年 4 月から高压電力受給施設（役場庁舎、保健福祉総合センター、晩翠污水中継施設、ふるさと物産館、生涯学習センター、給食センター、南幌小学校、南幌中学校、スポーツセンター（町民プール含む）、改善センター、消防支署、町立病院）に導入した再生可能エネルギー（カーボン F プラン）により、12 施設の電気における CO2 排出量が実質ゼロとなることから、大幅な削減となっています。

公用車使用で発生する温室効果ガス（CO2）排出量は全体で 196.9t-CO2、基準年（H25）比 18.5 t-CO2、8.6%減となりました。R3 年 10 月から開始されたオンデマンド交通「あいる」との利用頻度が増えましたが、冬期間の除排雪作業に係る建設機械の利用が減少したため、排出量が減少したと考えられます。

【施設・公用車別の排出量】

	基準年【H25】	実績【R6】	増減量	増減率
施設合計	3,232,140 kg-CO2	1,815,454 kg-CO2	△1,416,686 kg-CO2	△43.9%
公用車合計	215,391 kg-CO2	196,871 kg-CO2	△18,520 kg-CO2	△8.6%
総 計	3,447,531 kg-CO2	2,012,325 kg-CO2	△1,435,206 kg-CO2	△41.7%



施 設	基準年 H25	実 績 R6	増減量	増減率	構成比 (R6)
役場庁舎	207,709	33,310	△174,399	△84.0%	1.655%
夕張太ふれあい館	25,537	25,336	△201	△0.8%	1.259%
美園地区防犯灯	13,288	2,679	△10,609	△79.8%	0.133%
晩翠工業団地広告塔	1,381	157	△1,224	△88.6%	0.008%
南幌工業団地広告塔	3,241	1,558	△1,683	△51.9%	0.077%
南幌墓地	301	93	△208	△69.1%	0.005%
保健福祉総合センター	373,785	231,141	△142,644	△38.2%	11.486%
ふるさと物産館	74,399	48,468	△25,931	△34.9%	2.409%
総合保安センター	9,591	11,549	+1,958	+20.4%	0.574%
街路灯等	196,452	12,873	△183,579	△93.4%	0.640%
中央公園防犯カメラ	412	446	+34	+8.3%	0.022%
沼の里排水機場	4,213	882	△3,331	△79.1%	0.044%
幌向運河排水機場	22,704	14,134	△8,570	△37.7%	0.702%
夕張太排水機場	11,651	2,367	△9,284	△79.7%	0.118%
西幌排水機場	5,755	8,227	+2,472	+43.0%	0.409%
西 17 号排水機場	9,585	11,995	+2,410	+25.1%	0.596%
栗幌橋融雪施設	5,199	0	△5,199	△100%	0.000%
稲穂公園	1,533	995	△538	△35.1%	0.049%
柳陽団地集会場	5,744	3,791	△1,953	△34.0%	0.188%
晩翠汚水中継施設	76,298	0	△76,298	△100%	0.000%
みどり野中継施設	1,958	2,365	+407	+20.8%	0.118%
夕張太浄化センター	58,177	36,426	△21,751	△37.4%	1.810%
栄町公営住宅受水槽室	11,982	5,552	△6,430	△53.7%	0.276%
夕張太公営住宅受水槽室	3,992	4,390	+398	+10.0%	0.218%
東町マンホールポンプ	2,659	2,675	+16	+0.6%	0.133%
生涯学習センター	110,549	76,310	△34,239	△31.0%	3.792%
南幌小学校	283,597	154,113	△129,484	△45.7%	7.658%
南幌中学校	289,034	128,414	△160,620	△55.6%	6.381%
元町教員住宅受水槽室	434	267	△167	△38.5%	0.013%
給食センター	220,078	153,535	△66,543	△30.2%	7.630%
スポーツセンター	251,594	252,750	+1,156	△0.5%	12.560%
改善センター	160,160	88,050	△72,110	△45.0%	4.376%
町営プール (H27 廃止)	9,644	0	△9,644	△100%	0.000%
町立病院	726,060	461,130	△264,930	△36.5%	22.915%
消防支署	52,285	39,133	△13,152	△25.2%	1.945%
消防分団	1,159	343	△816	△70.4%	0.017%
普通公用車	60,295	53,210	△7,085	△11.8%	2.644%
建設機械 (公用車)	103,998	81,424	△22,574	△21.7%	4.046%
スクールバス (公用車)	51,098	43,968	△7,130	△14.0%	2.185%
デマンドバス (公用車)	0	18,269	+18,269		0.908%
総排出量	3,447,531	2,012,325	△1,435,509	△41.7%	100%

※対象施設：36 施設、対象公用車：57 台(普通公用車 42 台・建設機械等 10 台・スクールバス 3 台・デマンドバス 2 台)

※合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

## 5 各項目別の排出量について

各項目別での町の事務事業により排出された温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量の割合は、A 重油使用による排出量が 1496.0 t-CO<sub>2</sub> で総排出量の 74.3%を占め、灯油使用による排出量が 192.0 t-CO<sub>2</sub> で総排出量の 9.5%、軽油使用による排出量が 138.9 t-CO<sub>2</sub> で総排出量の 6.9%、電気使用による排出量が 110.7 t-CO<sub>2</sub> で総排出量の 5.5%、ガソリン使用による排出量が 57.9 t-CO<sub>2</sub> で総排出量の 2.9%、LP ガス使用による排出量が 16.7 t-CO<sub>2</sub> で総排出量の 0.8%の順になっています。（A 重油→灯油→軽油→電気→ガソリン→LP ガス）

### 1) A 重油の使用による排出

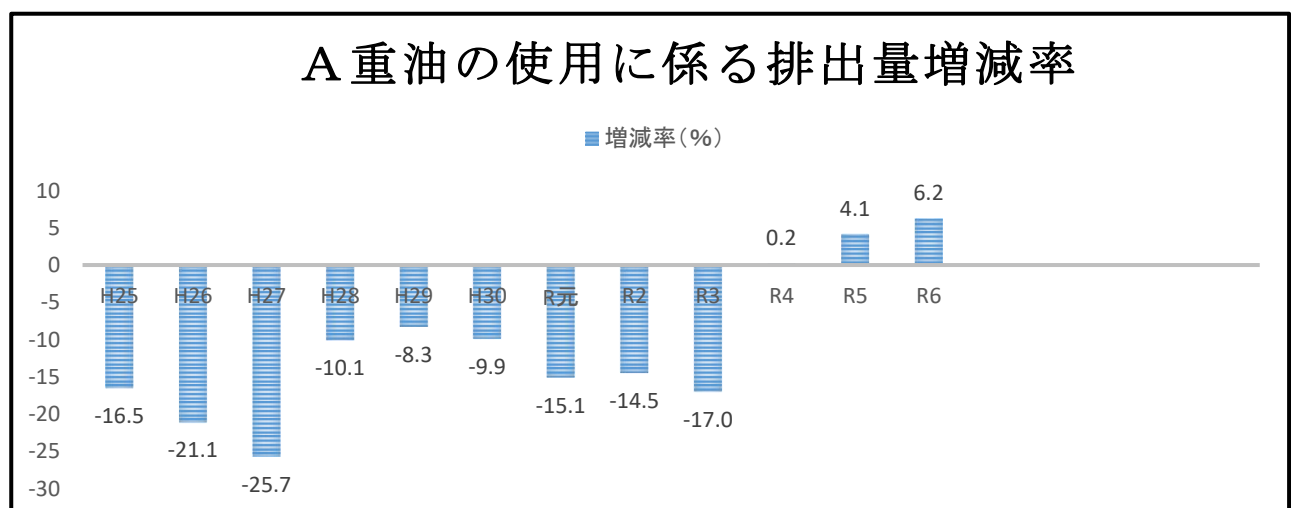
A 重油は主に、施設の暖房等に使用しており、冬期間の気象状況（気温）に大きく左右されます。A 重油の使用による温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量の合計は 1,496.0 t-CO<sub>2</sub> で、基準年（H25）比 88.2 t-CO<sub>2</sub>、6.2%の増加となりました。増加率が大きかったのは、スポーツセンターで、基準年（H25）比 101.2t-CO<sub>2</sub>、69.1%の増加となりました。少年団活動や利用頻度が増えたことにより、A 重油の使用量が増えたため増加となっています。一方、削減率が大きかったのは役場庁舎で、基準年（H25）比 33.0 t-CO<sub>2</sub>、53.2%の削減となりました。R2 の庁舎改修に伴い、A 重油を利用した暖房を使用しなくなったため、大幅な削減となりました。

【A 重油の使用による施設の排出量内訳】

（単位：Kg-CO<sub>2</sub>）

施 設	基準年 H25	実 績 R6	増減量	増減率
役場庁舎	70,460	33,000	△37,460	△53.2%
保健福祉総合センター	227,640	231,000	+3,360	+1.5%
ふるさと物産館	29,810	44,000	+14,190	+47.6%
西 17 号排水機場	0	11,000	+11,000	%
南幌小学校	184,280	154,000	△30,280	△16.4%
南幌中学校	151,760	88,000	△63,760	△42.0%
給食センター	138,210	148,500	+10,290	+7.4%
スポーツセンター	146,340	247,500	+101,160	+69.1%
改善センター	70,460	88,000	+17,540	+24.9%
町立病院	357,720	412,500	+54,780	+15.3%
消防支署	31,165	38,500	+7,335	+23.5%
排出量合計	1,407,845	1,496,000	+88,155	+6.2%

※合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。



## 2) 電気の使用による排出

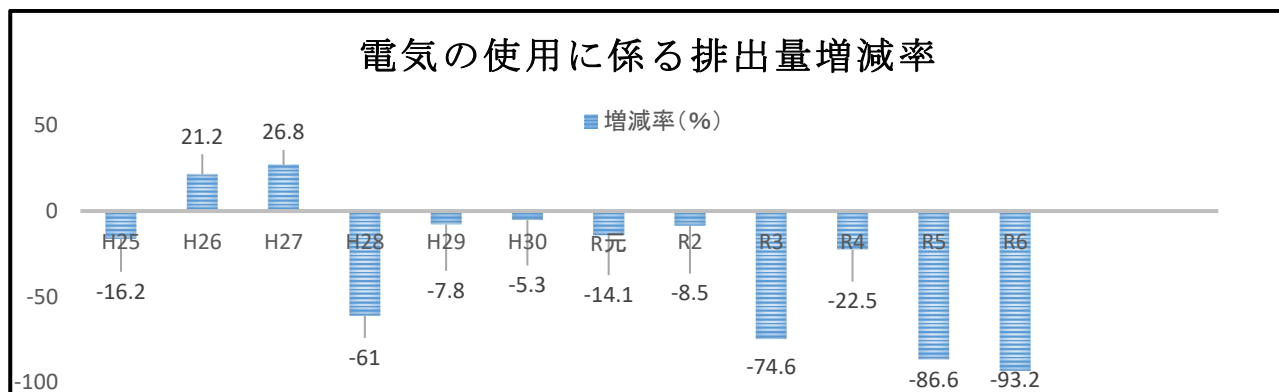
電気の使用による温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の合計は110.7t-CO<sub>2</sub>で基準年(H25)比1,496.3 t-CO<sub>2</sub>、93.2%の削減となりました。令和5年4月から高圧電力受給施設(役場庁舎、保健福祉総合センター、晩翠污水中継施設、ふるさと物産館、生涯学習センター、給食センター、小学校、中学校、スポーツセンター(町民プール含む)、改善センター、消防支署、町立病院)に導入した再生可能エネルギー(カーボンFプラン)により、上記12施設のCO<sub>2</sub>排出量が実質ゼロとなることから大幅な削減となっています。

【電気の使用による施設の排出量内訳】

(単位: Kg-CO<sub>2</sub>)

施 設	基準年 H25	実 績 R6	増減量	増減率
役場庁舎	133,401	0	△133,401	△100.0%
夕張太ふれあい館	8,842	8,639	△203	△2.3%
美園地区防犯灯	13,288	2,679	△10,609	△79.9%
晩翠工業団地広告塔	1,381	157	△1,224	△88.7%
南幌工業団地広告塔	3,241	1,558	△1,683	△52.0%
南幌墓地	301	93	△208	△69.2%
保健福祉総合センター	145,670	0	△145,670	△100.0%
ふるさと物産館	40,649	0	△40,649	△100.0%
総合保安センター	2,545	2,180	△365	△14.4%
街路灯等	196,452	12,873	△183,579	△93.5%
中央公園防犯カメラ	412	446	+34	+8.2%
沼の里排水機場	4,213	882	△3,331	△79.1%
幌向運河排水機場	22,704	14,134	△8,570	△37.8%
夕張太排水機場	11,651	2,367	△9,284	△79.7%
西幌排水機場	5,755	8,227	+2,472	+42.9%
西17号排水機場	9,585	995	△8,590	△89.7%
栗幌橋融雪施設	5,199	0	△5,199	△100.0%
稲穂公園	1,533	995	△538	△35.1%
柳陽団地集会場	4,207	2,481	△1,726	△41.1%
晩翠污水中継施設	76,298	0	△76,298	△100.0%
みどり野中継施設	1,958	2,365	+407	+20.7%
夕張太浄化センター	58,177	36,426	△21,751	△37.4%
栄町公営住宅受水槽室	11,982	5,552	△6,430	△53.7%
夕張太公営住宅受水槽室	3,992	4,390	+398	+9.9%
東町マンホールポンプ	2,659	2,675	+16	+0.6%
生涯学習センター	39,147	0	△39,147	△100.0%
南幌小学校	99,149	0	△99,149	△100.0%
南幌中学校	69,880	0	△69,880	△100.0%
元町教員住宅受水槽室	434	267	△167	△38.5%
給食センター	76,192	0	△76,192	△100.0%
スポーツセンター	104,629	0	△104,629	△100.0%
改善センター	89,464	0	△89,464	△100.0%
町営プール(H27廃止)	8,514	0	△8,514	△100.0%
町立病院	332,451	0	△332,451	△100.0%
消防支署	19,946	0	△19,946	△100.0%
消防分団	1,159	343	△816	△70.5%
排出量合計	1,607,060	110,724	△1,496,336	△93.2%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。



### 3) 灯油の使用による排出

灯油の使用による温室効果ガス(CO2)排出量の合計は192.0 t-CO2で基準年(H25)比14.3 t-CO2、7.0%の削減となりました。灯油を主暖房としている施設は、夕張太ふれあい館、総合保安センター、生涯学習センター、町立病院となっています。

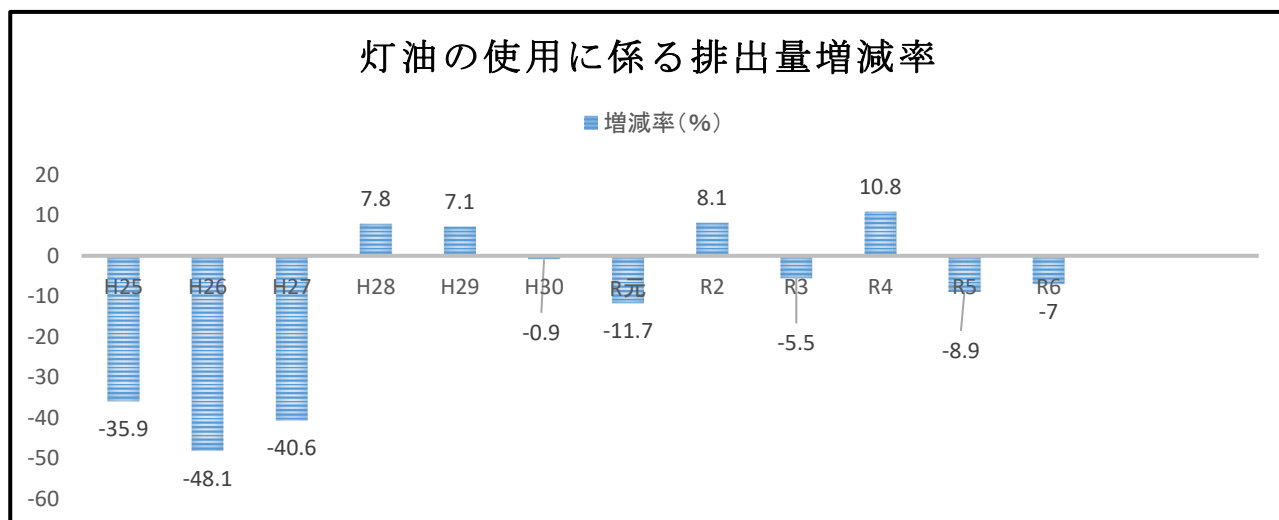
町立病院では、玄関前のロードヒーティング等の使用により排出量が増加しましたが、役場庁舎や中学校で大きな削減が見られたことから、全体としては7.0%の削減となりました。

【灯油の使用による施設及び公用車の排出量内訳】

(単位 : Kg-CO2)

施 設	基準年 H25	実 績 R6	増減量	増減率
役場庁舎	2,885	0	△2,885	△100.0%
夕張太ふれあい館	16,695	16,697	+2	+0.1%
保健福祉総合センター	475	135	△340	△71.6%
総合保安センター	7,027	9,317	+2,290	+32.5%
柳陽団地集会場	1,537	1,310	△227	△14.8%
生涯学習センター	71,402	76,310	+4,908	+6.8%
南幌小学校	135	100	△35	△26.0%
南幌中学校	67,375	40,395	△26,980	△40.1%
スポーツセンター	625	5,250	+4,625	+740.0%
改善センター	45	50	+5	+11.1%
町営プール (H27 廃止)	1,130	0	△1,130	△100.0%
町立病院	30,900	42,420	+11,520	+37.2%
スクールバス	6,037	0	△6,037	△100.0%
排出量合計	206,268	191,984	△14,284	△7.0%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。





#### 4) 軽油の使用による排出

軽油の使用による温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の合計は138.9t-CO<sub>2</sub>で基準年(H25)比27.3t-CO<sub>2</sub>、16.4%の減少となりました。

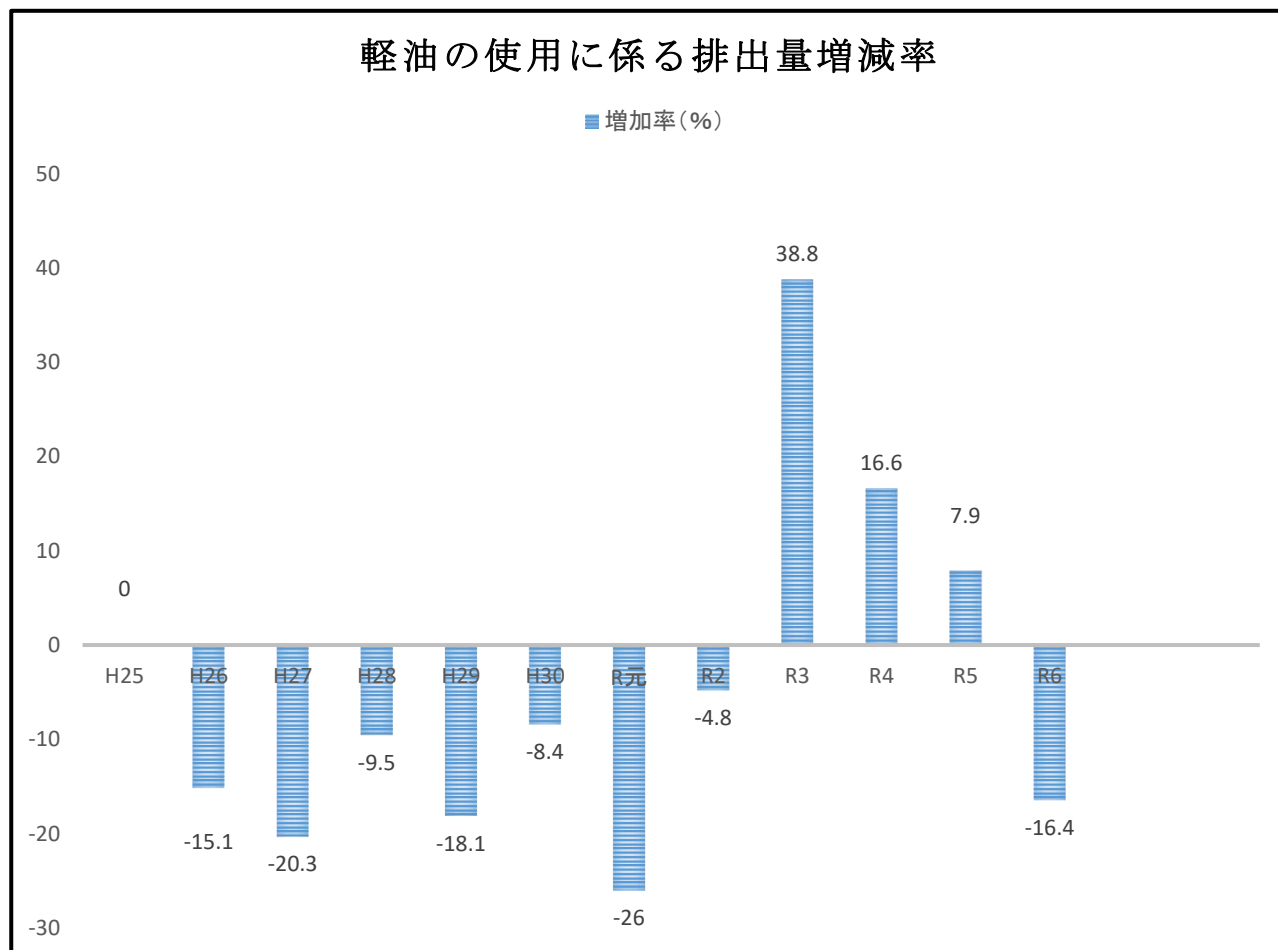
土木係管理の公用車(建設機械等含む)が特に減少となっており、冬期間の除排雪作業に係る建設機械の利用が減ったため、排出量が減少となっています。

##### 【軽油の使用による排出量内訳】

(単位: Kg-CO<sub>2</sub>)

施 設	基準年 H25	実 績 R6	増減量	増減率
公用車(財務係管理分)	6,969	2,630	△4,339	△62.3%
公用車(保健福祉課管理分)	576	597	+21	+3.6%
公用車(土木係管理分)	103,998	81,424	△22,574	△21.7%
スクールバス	45,061	43,968	△1,093	△2.4%
給食センター配膳車	2,061	1,828	△233	△11.3%
消防車等(消防支署管理分)	7,084	7,860	+776	+11.0%
消防車等(消防分団管理分)	0	631	+631	
公用車(町立病院管理分)	458	0	△458	△100.0%
排出量合計	166,207	138,938	△27,269	△16.4%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。



## 5) ガソリンの使用による排出

ガソリンの使用による温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の合計は 57.9t-CO<sub>2</sub> で基準年(H25)比 14.8t-CO<sub>2</sub>、34.3%の増加となりました。

増加の主な要因は、R3 年 10 月から開始されたオンデマンド交通「あいるーと」の利用頻度が増えたことや、軽トラックや道路パトロール車の使用頻度の増加によるものです。

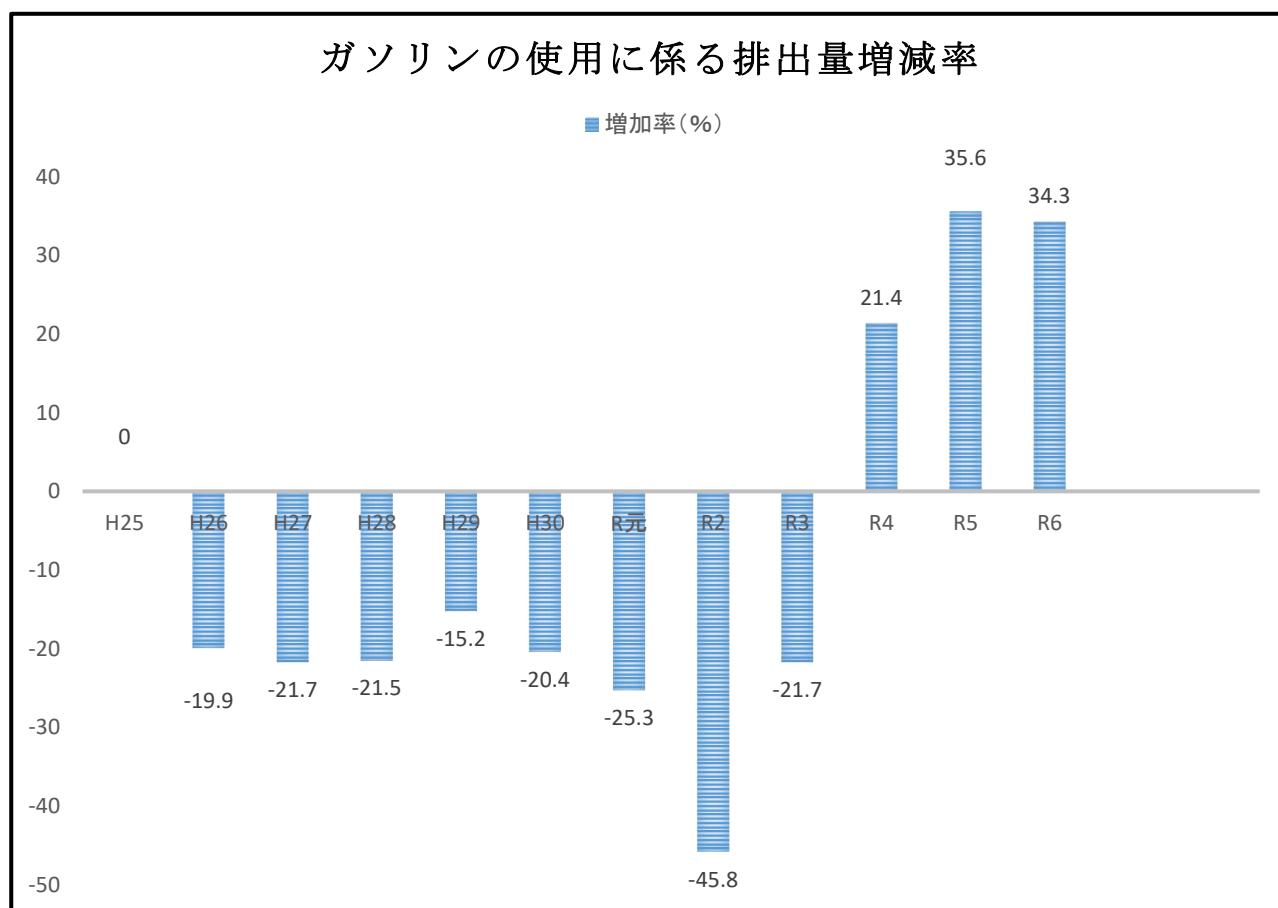
※「あいるーと」で使用されるガソリン分の温室効果ガス排出量の算定については、「地方公共団体が温室効果ガスの排出量を自ら管理できる範囲で、かつ、エネルギー管理権限を有する場合は、事務事業編の温室効果ガス排出量の算定範囲に含まれる」とされていることから、対象施設としています。

### 【ガソリンの使用による排出量内訳】

(単位: Kg-CO<sub>2</sub>)

施 設	基準年 H25	実 績 R6	増減量	増減率
公用車 (財務係管理分)	25,073	16,886	△8,187	△32.7%
公用車 (環境交通係管理分)	0	3,057	+3,057	
公用車 (保健福祉課管理分)	4,820	1,227	△3,593	△74.5%
ハイエース (デマンドバス)	0	18,269	+18,269	
公用車 (土木係管理分)	0	8,247	+8,247	
公用車 (都市施設係管理分)	1,190	914	△276	△23.2%
公用車 (教育委員会管理分)	1,877	0	△1,877	△100.0%
消防支署 (消防車等)	8,949	7,243	△1,706	△19.1%
公用車 (町立病院管理分)	1,238	2,090	+852	+68.8%
排出量合計	43,147	57,933	+14,786	+34.3%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。



## 6) LP ガス使用による排出

LP ガス使用による温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の合計は 16.7t・CO<sub>2</sub> で基準年(H25)比 0.26t・CO<sub>2</sub>、1.5%の削減となりました。

ふるさと物産館や町立病院等が増加となった一方で、それ以外のほとんどの施設において排出量が減少となり全体として 1.5%の削減となりました。

### 【LP ガス使用による施設の排出量内訳】

(単位：Kg・CO<sub>2</sub>)

施 設	基準年 H25	実 績 R6	増減量	増減率
役場庁舎	963	310	△653	△67.8%
保健福祉総合センター	0	6	+6	
総合保安センター	19	52	+33	+173.7%
ふるさと物産館	3,940	4,468	+528	+13.4%
南幌小学校	33	13	△20	△60.6%
南幌中学校	19	19	0	0.0%
給食センター	5,676	5,035	△641	△11.3%
改善センター	191	0	△191	△100.0%
消防支署	1,174	633	△541	△46.1%
町立病院	4,989	6,210	+1,221	+24.5%
排出量合計	17,004	16,746	△258	△1.5%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

